

2024 年 11 月 9 日

持続可能な地域社会プログラム連続セミナー#22

不動産マネジメントによるエリアマネジメント研究会

2024 年度 第 4 回目

日時：2024 年 11 月 9 日（土）14：00～17：00

実施方法：現地視察

場所：プラウドシティ日吉

参加者数：17 名

<概要>

今回は、神奈川県横浜市港北区にある「プラウドシティ日吉」の現地視察を実施した。前半は、講義形式で、野村不動産株式会社のご担当者からエリアマネジメントの仕組みのご説明を頂いた。後半は、ご案内のもと地域貢献施設や商業施設を視察し、その後に質疑応答が行われた。質疑応答では、マンションの管理会社や町内会など地域の多様な関係者とのどのように連携をしているのか詳細についてご説明いただいた。

「プラウドシティ日吉」は、マンション3棟、サービス付き高齢者向け住宅、商業施設、地域貢献施設を含む大規模複合開発の事例である。この事例は、「ふなばし森のシティ」でのエコカルティエ認証や、野村不動産の「BE UNITED 構想」、横浜市との開発協議を背景にエリアマネジメントを推進しており、2019年に設立された一般社団法人 ACTO 日吉がその主体となって活動している。

一般社団法人 ACTO 日吉は、野村不動産単体での活動ではなく、活動のコンセプトに賛同し、地域に持続的に関わっていく企業や団体を巻き込む「コアパートナー制度」を設け、活動の主体を地域に移譲していく体制を構築している。また、地域に開かれた地域貢献施設や、開発と並行して「吉日楽校」というコミュニティ形成イベントの開催など、地域に開かれたエリアマネジメントが行われている。

一般的に商業・業務地におけるエリアマネジメントの事例が多い中で、分譲マンションを中心とした住宅地のエリアマネジメントの事例である「プラウドシティ日吉」の視察は大変興味深く、今後の持続可能な地域社会の実現に向けた研究の糧となった。今回の視察にご協力して頂いた野村不動産株式会社のご担当者さまならびに関係者の皆様方、そして、本研究会の皆様方のご協力に改めて深謝申し上げます。

参考までに、当日の様子を撮影した写真を貼付する



まちのリビング



「まちのリビング」での講義



まちのワークスペース



まちのスタジオ



横浜市立箕輪小学校前



広場一覧

以下余白